

一橋大学審査学位論文・論文要旨 修正対照表

論文題目 現状維持からの脱却：予期的後悔が現状維持傾向に及ぼす影響

木村（道家）瑠見子

論文修正対照表

旧論文	訂正論文
P5 17行目 新規 理由；表記に誤りがあったため	新奇
P14 下から10行目、下から3行目 参焦点 理由；表記に誤りがあったため	参照点
P29 6行目 このことは <u>研究手法</u> に原因があるだろう 理由；記述が適切でなかったため	このことは <u>長期的な視点</u> で過去を振り返らない <u>こと</u> に原因があるだろう
P29 8行目 この <u>手法</u> の場合、参加者自身の 理由；記述が不適切なため	この場合、 <u>長期的な視点</u> で参加者自身の
P48 8行目 仮説を検討する <u>予備的な</u> 研究 理由；表記が適切でなかったため	仮説を検討する <u>ための基礎となる</u> 研究
P93 下から8行目 予期をせる 理由；脱字があったため	予期を <u>させる</u>
P95 12行目 研究5では <u>サンプル</u> を変えて 理由；表記が適切でなかったため	研究5では <u>実験参加者</u> を変えて
P122 6行目 新規 理由；表記に誤りがあったため	新奇
P122 下から2行目 予備的な 理由；表記が適切でなかったため	基礎となる

P141 6行目 British <u>Psychological Society</u> 理由；表記が適切でなかったため	British <u>Journal of Social Psychology</u>
---	---

論文要旨修正対照表

旧論文要旨	訂正論文要旨
P2 9行目 現状変更なのかと <u>変わってくる</u> 理由；表記が適切でなかったため	現状変更なのか <u>が変わってくる</u>
P2 下から5行目 失敗ばかりが <u>予期される</u> 方法では 理由；表記が適切でなかったため	失敗ばかり <u>を予期する</u> 方法では
P3 下から5行目 <u>予備的な</u> 研究 理由；表記が適切でなかったため	<u>基礎となる</u> 研究
P5 下から8行目 新規な 理由；表記に誤りがあったため	新奇な

以上

審査委員（主査）

印

審査委員

印